

平成16年度 事業計画 (案)

I、総会・会議

1、通常総会 (第47回代議員総会)

期 日 平成16年7月9日 (金) ~ 7月10日 (土)

会 場 アーバンホテル大田市場

東京都大田区東海2-2-1 TEL 03-3799-3100

2、役員会

(1) 理事会

① 平成16年5月14日 (金) ~ 15日 (土)

青森県 八戸パークホテル

② 平成16年12月3日 (金) ~ 4日 (土)

京都市内

(2) 支部長会議

① 平成17年2月11日 (金) 東京都内

(3) 執行部役員会

① 平成16年8月10日 (水) 大阪高島屋

② 平成16年8月上旬 日本花き生産協会

③ 平成16年10月中旬 日本花き生産協会

④ 平成17年1月 日本花き生産協会

3、会計監査

平成16年4月13日 (火) (株)大阪高島屋

II、一般事業

1、研究会・研修会の開催

新しい技術の開発と探求により生産意欲の高揚をはかり、会員相互の交流を深め、もって我が国ばら切花生産の振興・発展に寄与する。

(1) 全国ばら切花研究大会 (第35回)

期 日 平成16年10月29日 (金) ~ 30日 (土)
大会・会場 青森県 八戸パークホテル
テ ー マ 日本のばら生産の将来を考える
演 題 日本のバラ品種と育種の現状 他
講 師 ミッシェル研究所主宰他 部門スペシャリスト

(2) 研修会

① 講演

期 日 平成16年 7月10日 (土)
場 所 アーバンホテル大田市場
◇日ばら会員アンケートから見る日本のバラ切花経営
千葉県農業改良課上席専門技術員 白熊一郎氏
◇消費拡大を目指したバラ切り花品質保持技術の今後の展開
(独)農業・生物系特定産業技術研究機構
花き研究所生産利用部 室長 市村一雄 氏

2、品評会の開催

(1) 第47回日本ばら切花品評会

ばら切花栽培技術の向上と消費拡大をはかるため、全国規模で開催し顕在需要を喚起し一層の消費拡大をはかる。農林水産祭参加行事として行う。当番県は和歌山県、会場は大阪高島屋。

(2) 品種展示と写真パネル展示即売

ばら品評会開催後の会場で、ばらの品種300種を展示し、バラ愛好家の期待に応えると同時に、ばらの写真50点を展示即売した。

(3) 平成16年度全国花き品評会に出品協力

主 催 (社)日本花き生産協会
開 催 地 浜名湖花博会場
開催月日 平成16年 5月25日

3、支部活動の強化・推進

支部組織の充実強化をはかるとともに、支部の事業活動を積極的に推進協力する。

4、消費宣伝事業の実施

- (1) 特別行事として、天皇陛下及び皇太子殿下の誕生日にばらの花を献花する。
- (2) 一般行事及び協力事業として、「父の日にばらの花を」「エランドール賞」「春のばら展」及び各界が行うイベントで消費宣伝事業を行う。また、各支部、地域においても積極的に推進する。とくに公共団体並びに花き関係団体との協力体制を強化し、各種のマスメディアを通して消費の拡大とばらの利活用の促進に努める。
- (3) バラ切花の鮮度保持対策

ばらの消費をさらに拡大するための手法として、消費者段階で花を長持ちさせる対策を検討し普及に努める。

期 日 H16 6月18日～20日

場 所 「父の日」チャリティーセール会場

内 容 花保ち栄養剤の消費者段階でのアンケート 200件

5、技術・品種等管理特別委員会の組織強化

- (1) 生産者育種家を育て、会員のメリットを具現するため、オリジナル品種の作出を目途に、育種関係者の会合を開き情報の交換を図る。
- (2) ばら自家増殖規制緩和による増殖本数の事前報告の徹底化と事業円滑化に努める。
- (3) 新技術の開発普及の促進。

6、日ばら青年部の活動強化対策

日ばらの若い担い手の活動を活発化するため、全国集会を定期的に行き、情報の交換と組織の活性化を図る。

7、組織強化対策

支部・会員活動の充実強化を推進するとともに、末組織地域の支部結成を進める。

8、会報の発行

会報第52号及び日ばらニュース第38号を発行し、会員からの情報収集に務め、関係資料の提供を行う。

Ⅲ、協力事業

関係団体への協力各種関係機関、団体等の行う事業に参加協力する。

1、
2、
3、

総
金
入
費
協
助
費
雑

会
議
費

事
業
費

専
任
法
政
員
履
行